令和２年度　第１回保健福祉政策審議会　概要

1. 日時：令和２年８月５日（水）１４：１０～１５：１５
2. 場所：岡山市保健福祉会館９階　機能回復訓練室
3. 議題（２）岡山市第８期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）の策定ついて

・災害等に対応できるよう、既存の特養への支援の充実をお願いしたい。

・介護、看護の現場は人員不足。高齢者は何かをされるだけでなく、できることは自分でやっていくという意識改革や、高齢者が地域の中で何ができるかを考える場が必要。

・自分から介護予防等の施策へ繋がることが難しい人への対策が重要。

・退職後に緊張感が無くなってしまう高齢者が多いため、生涯現役で働ける場について、市民への周知を進めてもらいたい。

・新型コロナによる自粛で、高齢者の社会とのつながりや身体機能の低下が懸念されるため、引き続きフレイル対策を進めてもらいたい。

・ADL維持加算や生活機能改善加算については、介護報酬が低いため実際には取り組みにくい現状があり、岡山市の総合特区の中で制度改正に向けて取り組んでいるのはありがたいが、ADLだけに着目するのではなく、QOLの評価にどう取り組んでいくかという視点も重要。

・2040年も見据え、高齢化による生活への影響がどうなっていくのか市民へ周知し、一緒に考えていくことが重要。

・市民にとって保険料の上昇はネガティブなイメージだが、豊富な介護資源等、メリットを含め市民にしっかりと説明できるようにしていくことが重要。

また、要介護認定を受けているが、サービスを利用していない方に関して、要介護認定の適切性や、認定を受ける意味をしっかり説明していくことも重要。